

「読取革命Lite for Mac」 かんたん入門ガイド

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本手順書は、「読取革命Lite for Mac」の基本的な操作手順を記載しております。
ご不明な点やご質問などがございましたら、お気軽にお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。



Manual

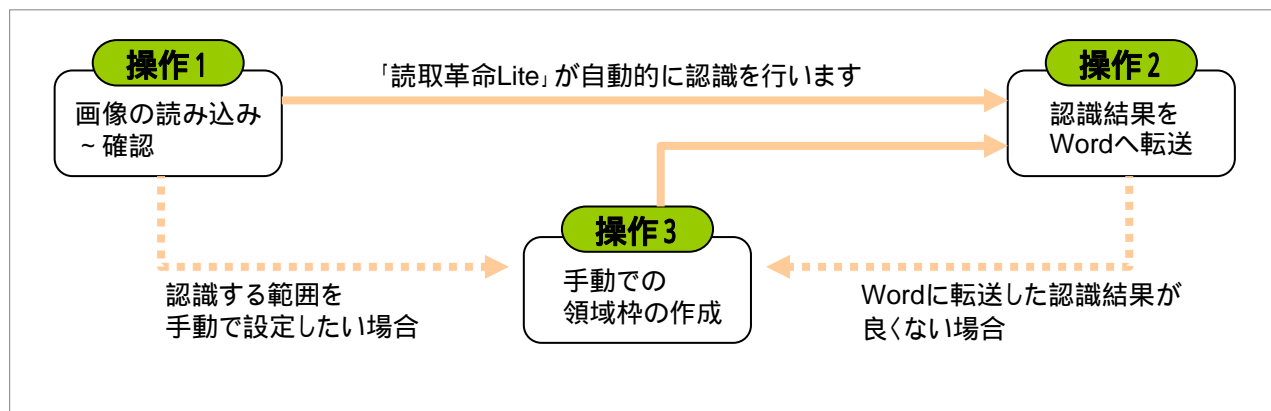
「読取革命Lite for Mac」の詳細な操作については、一緒にインストールされている電子マニュアルをご参照ください。
[アプリケーション] - [読取革命Lite]フォルダの中にご 있습니다。

名称	パナソニック ソリューションテクノロジー ソフトサポートセンター
TEL	0570-00-8700
FAX	0570-00-8799
Webからのお問い合わせ	https://p3.support.panasonic.co.jp/p3/ext/agree.jsp?cid=1235410 上記URLをクリックして、ホームページからお問い合わせできます。
受付時間	月曜日～金曜日（土日・祝日・弊社休日を除きます） 9:00～12:00 13:00～17:00

解説

操作の流れ

読取革命Lite for Macの基本的な操作の流れは以下の通りです



操作

アプリケーションの起動

「読取革命Lite for Mac」を起動します

1. アプリケーションフォルダの「読取革命Lite」フォルダを開きます

2. 「読取革命Lite(.app)」をダブルクリックすると起動します

起動すると、画面中央に「読取革命Liteへようこそ！」画面(ウィザード)が表示されます



こちらの画面は[閉じる]をクリックして画面を閉じます

操作 1

画像の読み込み～確認

文字認識する画像を「読取革命Lite」へ読み込み、読み込んだ画像を確認します

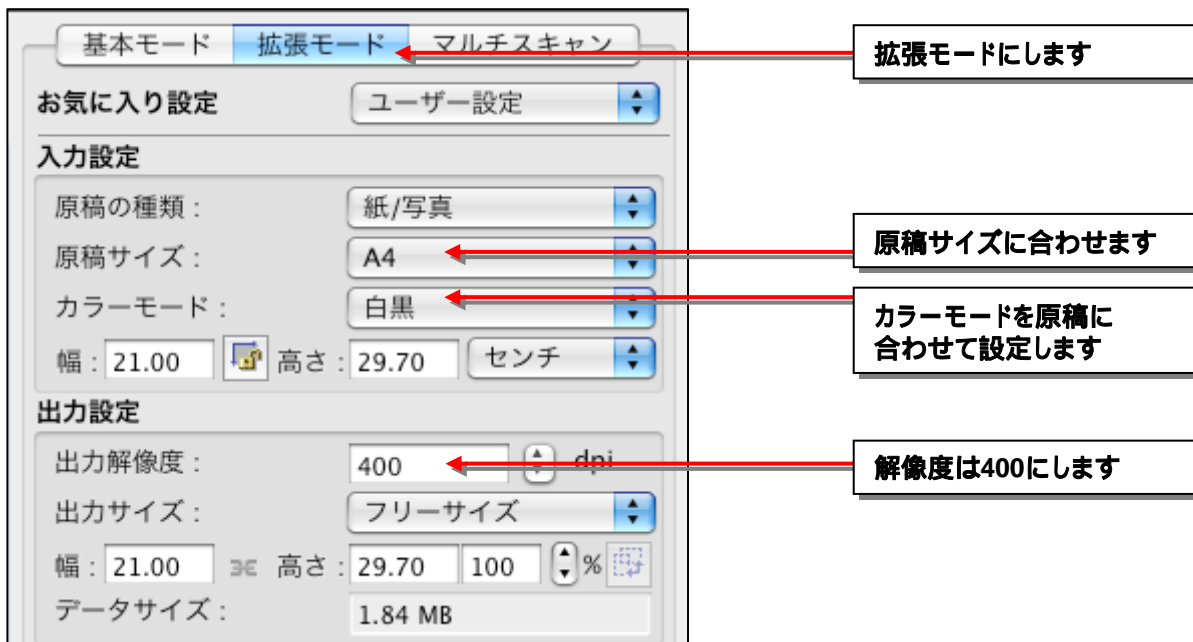
1. スキャナーに認識したい画像をセットします

2. ツールバーの[入力]から読み込みます



3. スキャナーの読み込み画面が表示されます

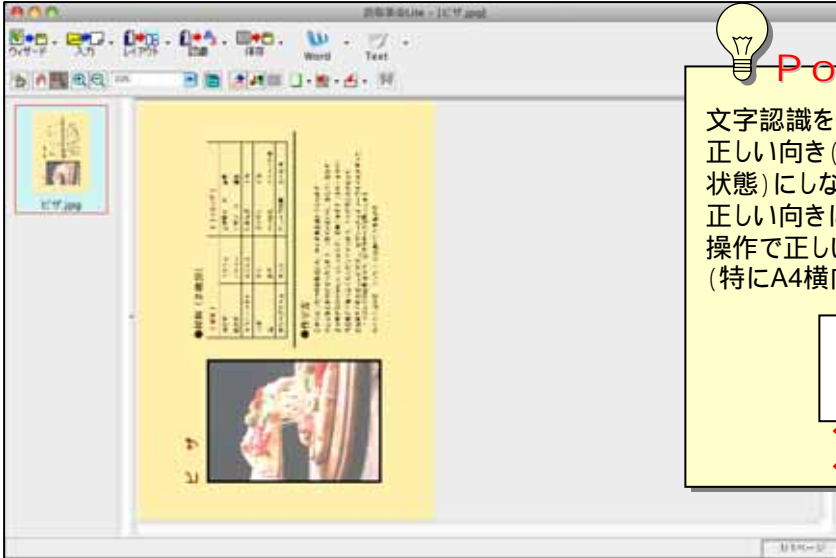
キヤノン製スキャナーの場合 (ScanGearが起動します)



4. スキャンを実行します

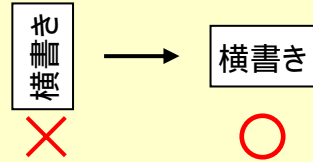


5. 「読取革命Lite for Mac」に画像が表示されます

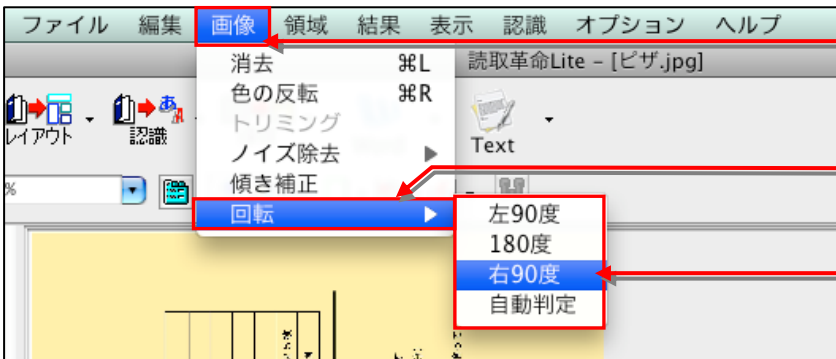


Point

文字認識を行うには、読み込んだ画像を正しい向き(画面と文字の上下が一致している状態)にしないとけません。正しい向きになっていない場合は、下記の操作で正しい方向に修正します。(特にA4横向きの用紙の場合に行います)



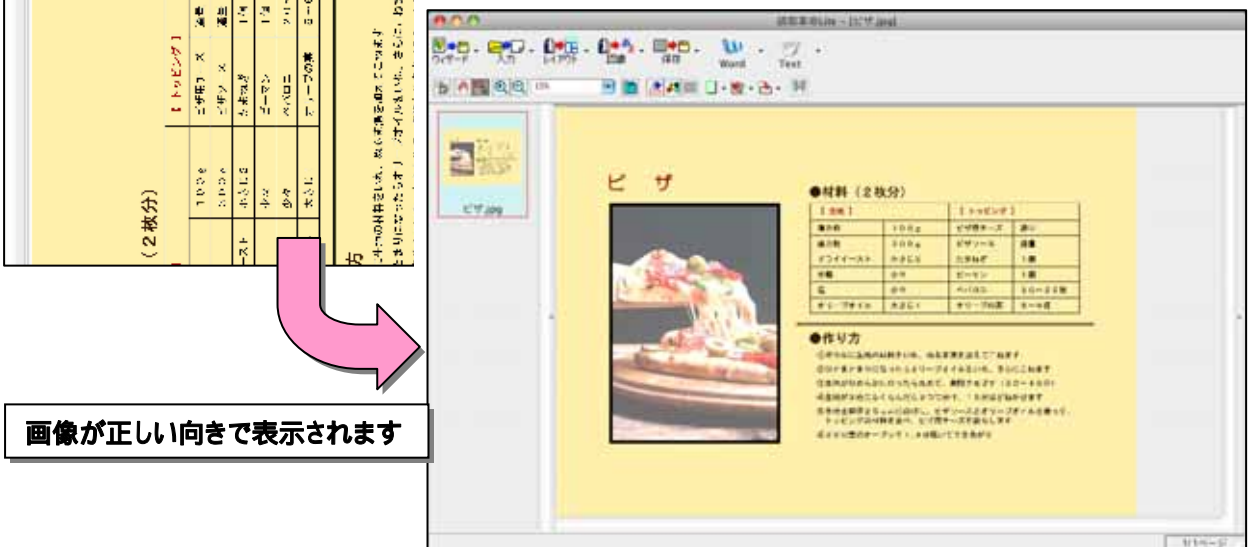
6. 画像の向きを正しい方向にします



画像をクリック

回転をクリック

原稿の向きにあわせて修正する方向をクリックします



画像が正しい向きで表示されます

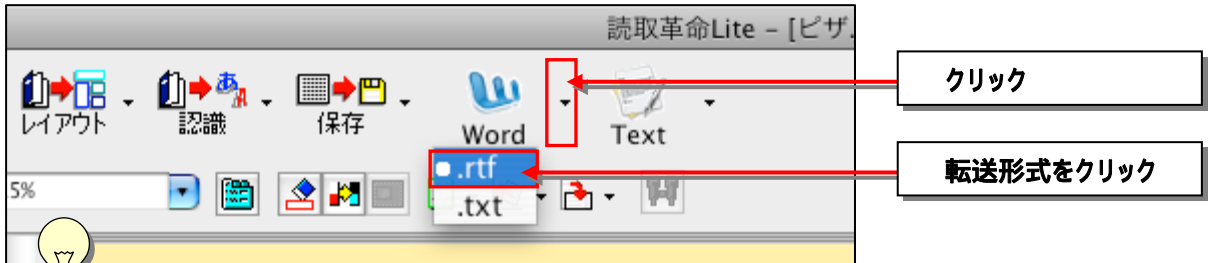
7. 画像を正しい方向にしたら、次の操作2にうつります

操作 2

Wordへ転送する

読み込んだ画像を自動的に認識し、Word上で表示します

1. ツールバーの[Word]アイコンで転送します



Point

Wordへの転送形式は、原稿や用途に合わせて選択します。

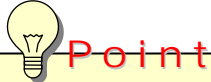
- ・表や画像があり、元の原稿のレイアウトに近くする場合 **..rtf形式**
(テキストボックス内に文字などが表示されます)
- ・文字だけを抽出し、元の原稿のレイアウトも維持しない場合 **.txt形式**
(文字だけが横書きの文章で表示されます)

Wordがインストールされていない環境では、テキストエディットへ.txt形式での転送のみとなります。

2. 自動的にWordが起動し、Word上に認識結果が表示されます



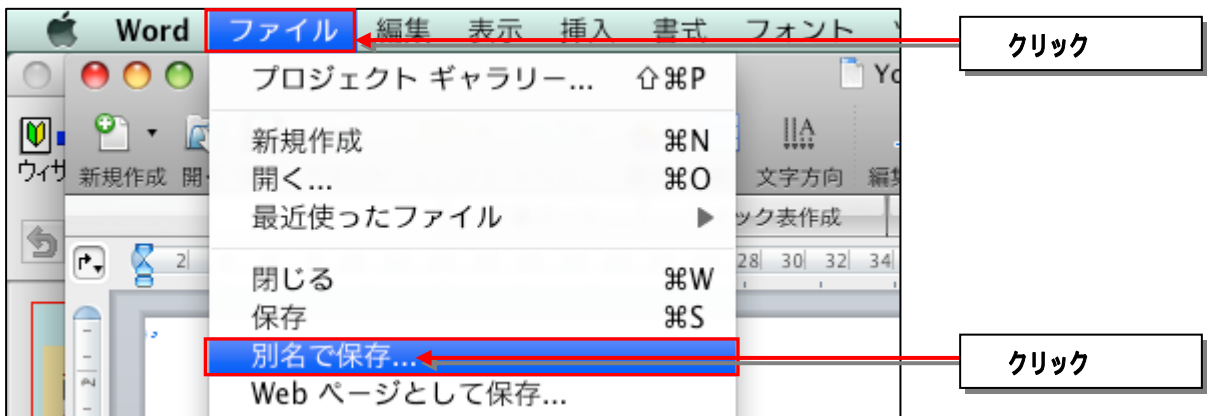
3. 表示された認識結果を修正します



出力先のアプリケーションにて、間違っ文字認識している文字を削除して、正しい文字を入力します。

- ・Wordに出力した場合、フォントはMSゴシックにて表示されます。
- ・フォントサイズを1~2程小さくしたり、テキストボックス自体を広げると、テキストボックス内に隠れている文字が表示される場合があります。
- ・余分な改行、原稿の汚れを認識した余分な文字などがあれば、削除します。

4. 認識結果を保存します



5. ファイル名・保存先を指定して保存します



操作3

手動で領域枠作成 ~ 認識結果が良くない場合

文字認識結果が良くない場合は、手動で文字認識するための設定を手動でおこないます



Point

領域枠とは？

画像を文字認識するためには、画像内の文字や画像をそれぞれどのように認識するか、またどの範囲を認識するのか設定する必要があります。

この文字認識するために設定する枠を領域枠といいます。

前ページまでの操作2では、ソフトが自動的に領域枠の作成・認識を行いましたが、操作3では文字認識する前の領域枠の作成を手動で行う操作を説明します。

領域枠は以下の種類別に作成します。

文字 (横書きは赤色・縦書きは黄緑色)	横書き・縦書きの文字を認識します。 横書き・縦書きは別々に領域枠を作成します。
表(紺色の枠)	罫線と罫線の枠内の文字を認識します。 表内の罫線にも紺色の線が作成されます。
画像(水色の枠)	画像として認識します。写真やイラストなど。

既に文字認識済みの場合は、作成されている領域枠を削除してから操作を行います。

【領域枠削除手順】

1. 画像ウィンドウで作成済の領域枠をクリック
2. メニューバー[編集] - [すべて選択]をクリック
3. 再度メニューバー[編集] - [クリア]をクリック
「認識結果を削除されますがよろしいですか」と表示されたら[OK]をクリック

1. 領域枠を作成する範囲を作成します

作成する枠の左上でクリック

● 作り方

- ①ボウルに生地を材料をいれ、ぬるま湯を加えてこねます
- ②ひとまとまりになったらオリーブオイルを塗る
- ③生地がなめらかになったら丸めて、発酵させる
- ④生地が2倍にふくらんだら2つに分け、15分ほどねかせます
- ⑤生地を直径25cmにのばし、ピザソースとオリーブオイルを塗って、トッピングの材料を並べ、ピザ用チーズを散らします
- ⑥250度のオーブンで7、8分焼いてできあがり

クリックしたまま右下へ

黒い破線で枠が作成されます

作成する枠の右下でマウスを放します

2. 作成した破線の枠内をダブルクリックします

領域枠の設定を行う、[属性変更]画面が表示されます。

3. [属性変更]画面で、領域枠の設定をします

作成した枠内をどのように認識するのが設定します

文字の場合は文字方向を設定します

クリック

4. 1~3の操作で認識したいところに領域枠を設定します

文字

表

文字

画像

【生地】		【トッピング】	
薄力粉	100g	ピザ用チーズ	適量
強力粉	300g	ピザソース	適量
ドライイースト	小さじ2	たまねぎ	1個
砂糖	少々	ピーマン	1個
塩	少々	ペパロニ	20~25枚
オリーブオイル	大さじ1	オリーブの実	5~6個

●作り方

- ①ボウルに生地材料をいれ、ぬるま湯を加えてこねます
- ②ひとまとまりになったらオリーブオイルをいれ、さらにこねます
- ③生地がなめらかになったら丸めて、発酵させます(30~40分)
- ④生地が2倍にふくらんだら2つに分け、15分ほどねかせます
- ⑤生地を直径25cmにのばし、ピザソースとオリーブオイルを塗って、トッピングの材料を並べ、ピザ用チーズを散らします
- ⑥250度のオーブンで7、8分焼いてできあがり

5. 設定が終わったら、Wordへ転送します(操作2参照)

補足

文字認識向上ポイント

以下の項目をお試し下さい(詳細な操作については、電子マニュアルをご参照ください)

原稿について

- ・手書き文字・斜体文字には対応していません。
- ・ワードアート・ロゴ・フォントを変形した文字は、文字認識することができません。
領域枠の設定を画像として設定します。
- ・文字自体がつぶれていたり、にじみがあると認識率は悪くなります。
何度もコピーした原稿や、FAXで受信した原稿等に多い原因です。
なるべく原本を使用してください。
- ・画像内の文字や、地図内の文字、文字の背景に柄がある原稿は文字認識すると文字化けします。
領域枠の設定で画像として設定してください。

画像の読み込み～確認について

- ・画像が傾いている場合は、[傾き補正]を使用します。
メニューバー[画像] - [傾き補正]
- ・細かい汚れがある場合は、[ノイズ除去]を使用します。(白黒2値画像のみ有効)
メニューバー[画像] - [ノイズ除去]
- ・[ノイズ除去]で消えない汚れや、認識に必要な箇所は[消しゴムコード]で消去します。
メニューバー[編集] - [消しゴムモード] 終了するときは[編集] - [領域設定モード]
- ・読み込んだ画像が暗い(濃すぎる)場合や、明るい(薄い)場合は、スキャナーからの読み込み時に[濃度調整]や[色調整]にて調整してから読み込みます。
文字と背景色の差がはっきりしている方が認識しやすくなります。

領域枠の作成について

- ・文字認識後、手動で領域枠を作成する場合は、作成済の領域枠を全て削除してから作成します。
- ・領域枠を削除するには、削除したい領域枠内をクリックし、メニューバーの[編集] - [クリア]をクリックします。
- ・領域枠は、なるべく枠が重ならないように作成します。
- ・フォントサイズが違う文字は、それぞれに領域枠を作成します。
- ・文字に下線がある箇所は、文字と下線で一つの領域枠を作成し、属性変更画面にて表として設定します。